

宮城・山形 秋保温泉佐勘

1泊2日の旅

石巻視察 松島遊覧船 秋保温泉佐勘

立石寺山寺 斉藤茂吉記念館

1日目 東京駅（新幹線）～仙台駅（バス）～塩釜（遊覧船）～松島～石巻～秋保温泉佐勘

2日目 ホテル（バス）～斉藤茂吉記念館～上山城～立石寺（山寺）～仙台駅（新幹線）～東京駅



◆ 立石寺（山寺）860年、清和天皇の勅命により天台宗の僧・慈覚大師円仁によって開基された霊場。1015段もの石段が続き、途中、芭蕉の句が刻まれる「せみ塚」や、建立当時に比叡山中堂より移された法灯が1100余年の間、一度も途切れることなく不滅の光を放っている「根本中堂」、そして山々や街並みを一望する「五大堂」など見どころが点在している。参道の終点にある「奥の院」には、慈覚大師が所持された三国伝来の釈迦と多宝の両尊が安置され、境内には日本三大灯籠に数えられる巨大な灯籠がある。

◆ 仙台秋保温泉 伝承千年の宿 佐勘

秋保温泉は、大和物語や捨遣集に名取の御湯（なとりのみゆ）とうたわれた、日本三御湯のひとつです。起源は今から1500年ほど前まで遠くさかのぼります。時の帝、第29代・欽明天皇が疱瘡（天然痘）をわずらわれた折、治癒を祈祷したところ、奥羽秋保の温泉湯浴みすればよいと告げられました。さっそく、使者に秋保の湯を都まで運ばせ、湯浴みしてみると、数日もしないうちに病気がなおられたということです。この時、喜んだ帝が詠ったのが、「おぼつかな 雲の上まで見てしかな とりのみゆかば あとかたもなし」以来、秋保温泉は「名取の御湯」と呼ばれるようになり、奥州最古の開湯場として知られております。

*旅行代金：お一人様 49,000 円 料金に含まれるもの 東京～仙台間の新幹線代、1泊2食宿泊代、観光バス代、バス代、有料道路、昼食代、入場料（斉藤茂吉記念館、立石寺山寺、上山城）

旅行取扱 旅日本株式会社 石井 伸二
東京都知事登録旅行業第3-6456号
東京都世田谷等々力7-15-5
電話 090-3230-7555